ィ

ィ

MAKINO. ・ナク 敀 野 脈 先生 Æ ノ學名ヲ與 おほ ハ 武州 id 膝折 なわらび ŀ 記 ァ. 居 シ デあ テ居 ٠ ١ が N は n ハ / 非常ニ な 3 其記 ゎ 羊 異 載 齒 び ハ本誌 IJ ハー見 ŀ 明瞭 云 フ お ナ種 瓶 ほは ノ二即 爾 小草 デ ァ な n チ ゎ 科 大正 = 6 新 Ű ŀ ガ判 五年 種 = 似 7 發見 N 四 テ 月 居 號 n シ = ガ テ 光澤 之 ァ n ガ之ヲ讀ンデ見 Botrychiumァ jν 煉 **瓦色**デ nipponicum 7 n ŀ ッ 色バ テ牧 力 野

後 / 本年四 居 モ 7 發見 ルル處 ハリ 丰 カラ 月之ヲ 膝折 シ タ 見ル Æ 附 デハアルマ 武州秩父武甲 , 近 ガ デ ト其分布 理學 7 n 士朝 ハ 相當 力記 Щ 此 一奈貞一 下 シ = 一廣イノ 各處デ テ同好 君 ガ之ヲ 採集 デアラ 1 注 意ヲ 採集 シ ゥ タ之ガ 喚起 ガー般人士 シ ヌ 恐ラク ŀ シ テ 聞 オ 7 本 ノ目 テ居 ŋ 邦 第三 = jν フ ガ 更二 ノ v 產 jν 割 地 大 合 デア 江六 ガ 年 少 N ガ 1 此樣 月 ヌ メ = 相 力 其 各 州 他 地 箱 デ 根 見出 產 權 迤 現

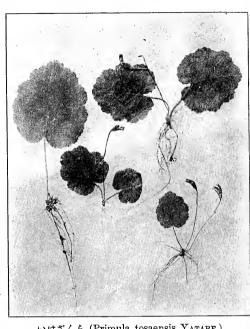
ガ

〇いはざくらノ産地

田

岡

分乃至四寸ハー アル點、 大正十三年 ノ尖頭鋸齒 植物學雜誌、 分乃 其他岩 此 至 原記 7 第四卷第四十 月 w 點 載 壁 九 寸五分乃至二寸 ハニ分乃 ト異 一ノ罅間 蒴 H 7 信 細長 ナ 舸 至 ル = 下 點 產 三寸 = 五號(一八九〇年 伊那 スル等ノ特徴 シ ハ 强 七分、 テ稍彎曲 郡 體 大鹿村デ = 小サ 一乃至六個 蒴 7 シ 長サ 1 ョッとはがくら (Primula tosaensis)) ト照合シ葉 いはざくらト思 て事デ即 **蕚ョリニ倍半乃至三倍長キ** 五分乃至五分五厘 IJ ・チ葉ノ長サ八分乃至二寸五分 ナル繖形花叢ハ一乃至二個デア 圓形或ハ ν n ハニ分五厘乃至三分五 Æ 廣卵形、基脚心臟形緣邊微缺刻 ヲ 點 發見ン 及ビ YATABE.) 9 種子暗 ハー分五厘 jν 早速矢田部博 ガ是 厘 褐色デ デアル 乃至 花莖 ハ 地 外 事 味氣候等 面 寸、 長 士 ヲ 細 = 1 確 サ 微 **≥** 二寸 原 葉 力 テ 柄 メ 突起 不 得 五. 同



いはざくら (Primula tosaensis YATABE.) 信州下伊那郡大鹿村產 (岡田喜一撮影)

Garden, Edinburgh, Vol. VIII. No. XXXVII.

ノ武田外吉博士ノ

1) \(\text{As far as I am aware it has been

Notes on

the Japanese

from the Province

of Tosa,

土佐國名野川

村及同安居村デ土佐國

限ラレ

テ居

九一三年

∧ Notes from the Royal Botanic

面

百

1

۲ ナ 珍

思

ッ

即 ハ 少

チ 此 ŀ

矢田 地

部 產

博

士

記

ガ

タ

10

聞

小

生 力

=

= 云

ス Æ

n

ŀ

ガ ナ

分

植

稀

ŀ

稀

力

フ

デ 3

ラ

≥⁄

X

タ

Æ

ŀ

思

koku. I recorded only Primulas

アルノミ

デ最近ノ大著タ

'n

日本植物總覽

九二五年) ニ

國

ノ外

九州

ラ擧

j;``

ラ

テ

本州

ニ及グ

ラ

記 四

サ

テ

丰

ナ

1

頃日 6 オ ガ n H ア = ŀ 偶 明 ッ 巨*記 デ タ 7 海ャサ 依 士 ナ 氏 1 ァ 州 V 發 該 テ ク尾州名古屋邊ノ花戸ニ多 有 依 居 表 圸 田 ッ n = 郡 翌 迄 テ ヲ 此 見 车 產 淺 即 菰 タ 町 ス 野 有 ガ チ N 其 事 Щ 田 後 八 ヲ 庇 九 知 產 ŋ 地 年 歸 產 ク散見 = 何 梅 シ 故 村甚太郎 テ w 植 力 = 物學 何 ヲ 檢 氐 雜誌 相當古ク ス 此菰野 ガ n 事ヲ得 v 中 = は ノ滋 æ 引 ざくら 山 崩 y 野 タ 知 サ Щ jν Æ 折、 ラ テ居ナ ŀ 採 デ テ居 サ 集目錄 ァ 伊 勢菰 ザ IJ クラ ク全 尙 y 其外 がヲ檢 園 野 藝家 ク忘 Щ 採 シ tosaensis 集品 大和 タ レ 間 ラ N 國 # = = テ居 デ 同 = ハ芳野 些 YATABE. 此 Щ シ ッ V = はざ テ テ 郡 珍 ハ ラ 夙

はざくらノ産地

三ノ子谷ニモ産スル事ヲ御数示下サレタ

續ス テいはざくら 'n 五ヶ所 ŀ ナ , 產地 'n 此 大鹿村 ŀ - **シ** テ 目 其東 下 知 北 N 限 = ŀ ŀ ナ ヲ ッ 得 Þ ヌ ッ , ケ デア 四 國 九 州、大 和 、伊勢、信濃(小生旣知ノ場所二ヶ所)

ŀ

斷

因ミニ ŀ テヰ n ガ 信濃敎育會下伊那郡部會編纂 ラゝ 即 チ此地 葉寫眞アル (大鹿村)デ採集ダ モ タッ 番 ラ 既ノミ ケハ少クトモ小生ョリーケ年早ク爲サレテ居タ 赤石登山 デ和 名ヲ省略シテアル(こいはざくらニハ番號及 「案內」(一九二三年七月二十五日發行)二八頁ニ デアラ ゥ E, 和名 v ۲ 思 は フ モ ざくら 記 サ

コトノ有無及ビ該草ニ就テノ收錄ハ無イ

小泉秀雄氏著

『日本南アル

プス寒地

植物誌」

(一九二四年三月十七日發行)ニハ此大鹿村ニい

はざくらく

產

ス

n

遠望シテ通ッタカラ復タ其處ヲ通レバドノ山ト云フコトケライハ判ルデアラウ境方面ニ在ル何トカ云フ山ニハ澤山生ジテ居ルト聞イタコトガアルガ殘念ナコトニハ私ハ今其山名ヲ逸シテ覺エテ居ナイガ汽車ノ腮カラ其山ヲ培前ノ文政八年刊行)ニハ『イハザクラ山中ニ生ズサクラサウニ似タリ』ト出テ居ル、今ハ故人トナッタ伊勢四日市ノ川崎光次郎君カラ同國西年前ノ文政八年刊行)ニハ『イハザクラ山中ニ生ズサクラサウニ似タリ』ト出テ居ル、今ハ故人トナッタ伊勢四日市ノ川崎光次郎君カラ同國西 説』ニハ勢州菰野湯ノ山大石ノ邊ニ多シト記シ菰野ニテハ方言ヲさくらさうト呼ブコトガ書イテアル又其他ノ幽谷岩壁ノ産デ城州ノ叡山ニモア 【牧野曰フ】いはざくらガ伊勢ノ菰野山ニ産スルコトハ 舊クカラ濃尾ノ草木學者ニハ知ラレテ居ッタモノト見エル、 ルト見エテ居ル、いはざくらノ名ハ多分徳川木葉時代ニ尾州名古屋ノ同好學者連ガ付ケタモノデ水谷豐文著『物品識名拾遺』、昭和二年ヨリ 『日本 百二

(108)(109)(110)ト改ム 〇口繪みやまむらさきノ學名 第四號表紙 (81) (82) (85) (89) (92) (94) (96) (93) (99) (102) (104) (105) (106) ヲ順火ニ (85) (86) (89) (98) (96) (98) (100) (102) (103) (106) (108) (108) (108) (108) (109) (1 訂正シ最後ノ (106) 第四號表紙 (81)(82)(85)(89)(92)(94)(96)(93)(99)(102)(104)(105)(106) トナリ他ノ頁モ亦同ジ割合デ鑾ハルノデアル Nakai's critisisum 左ヨリ六行 第四卷第一號表紙、 SEKINE DAN ヲ (110)ト改メテ止ム故ニ DON Eritrichum NAKAI's criticisum ●同第二號(Eritrichum (98) (100) (102) (103) (106) (108) (109) (110) 〇舊ノ (81) 頁、 iversity Eritrichium (35) 頁、九行 Catraria Eritrichium 〇頁數 (81) トナリ (90) ハ (94) University PAGE > 明治九年 左カラ七行 *>*> Cetraria 明 ニ續イタ トナリ (85 (85) ト訂正スル 祝詞と弔詞 ■同第三號口繪まめざくらトセル寫眞 ■同第三號口繪まめざくらトセル寫眞 (Illust.) 二改×以下順ヲ追テ之ニ從ロテ其數ヲ (92)ヲ (100)ノ除ク 祝辭と弔辭 トナリ ○歐文表紙、 (104)